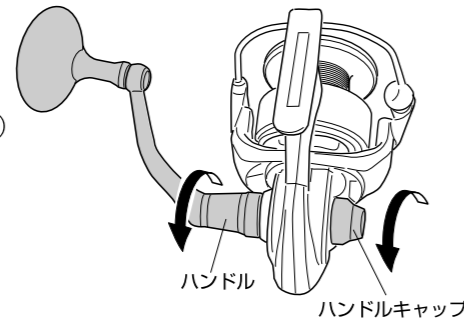


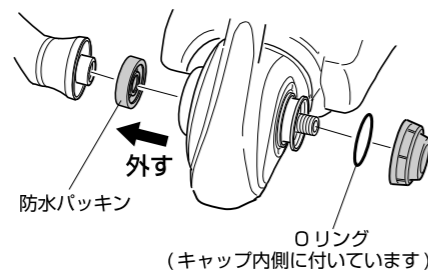
●ハンドル左右切換方法

※運搬時はハンドルを外した状態で収納してください。
※ハンドルはスクリュー式の着脱になっています。使用中に緩み、落下しない程度にきつく締めてください。
(締付け目安：ハンドルノブに加える力8～10kg)
また過剰に締付けると、ギアが破損し回転性能が低下することがありますのでご注意ください。
※製品出荷時はハンドルは左仕様になっております。

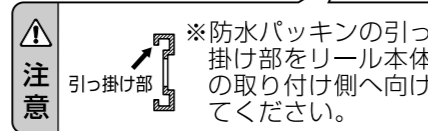
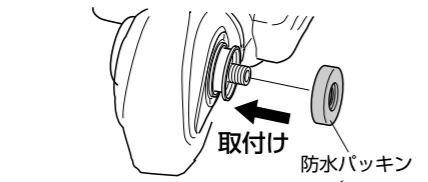
- 1 ①ハンドルを手で右(時計回り)に回して外します。
②ハンドルキャップを、左(反時計回り)に回して外します。



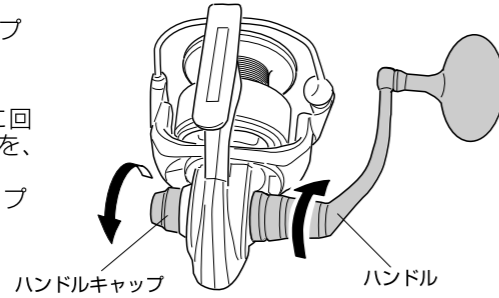
- 2 ③キャップと一しょにOリングも外します。
※ハンドル側についている防水パッキンも外します。



- 3 ④新しく取り付けるハンドル側へ防水パッキンを移動し取り付けます。

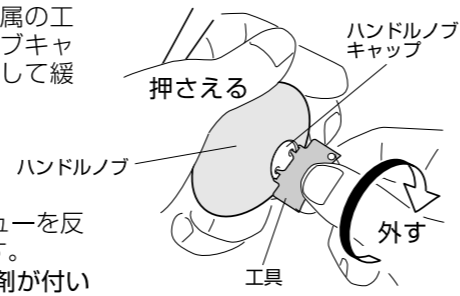


- 4 ⑤ハンドルとハンドルキャップを入れ替えます。
⑥ハンドルを右(時計回り)に回します。ハンドルキャップを、右(時計回り)に回します。
※Oリングも忘れずにキャップ側へセットしてください。

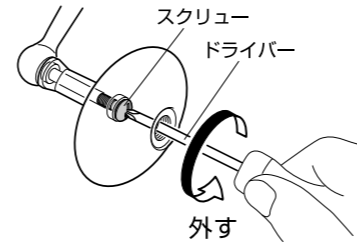


●ハンドルノブ交換方法

- 1 ハンドルノブを指で押さえ、付属の工具の爪を図のようにハンドルノブキャップの穴に入れ、時計回りに回して緩め外します。
※逆ネジです。

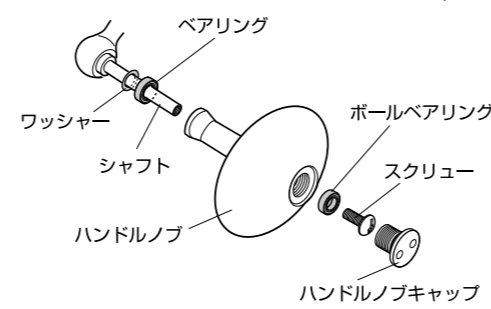


- 2 ドライバーでノブ内部のスクリューを反時計回りに回し、緩めて外します。
※スクリューには、ゆるみ防止剤が付いていて、ゆるみにくくなっています。ネジ山を傷めないようにご注意ください。



※ノブを取り付ける際は、逆の手順で行ってください。

- 3 部品構成は図のようになります。



『パーツ情報』

パーツ情報については【ダイワパーツ検索システム】よりご確認ください



『カスタムパーツ情報』

カスタムパーツ情報については【製品対応検索システム】よりご確認ください



●アフターサービスについて

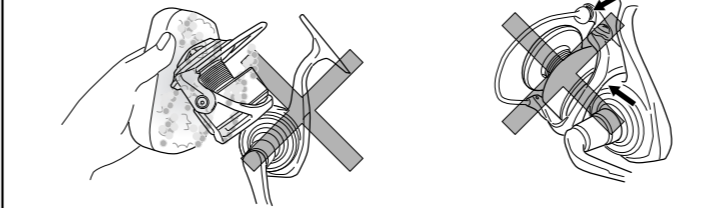
本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万が一、故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品注文の際はご購入の販売店、または下記のお客様センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター(無料) 携帯電話からもご利用できます
TEL 0120-506-204 【受付時間】9:00～17:00
(土・日・祝祭日は除く)
ホームページ上からも確認、お問い合わせできます
www.daiwa.com/jp/
グローブライド株式会社
〒203-8511 東京都東久留米市前沢3-14-16

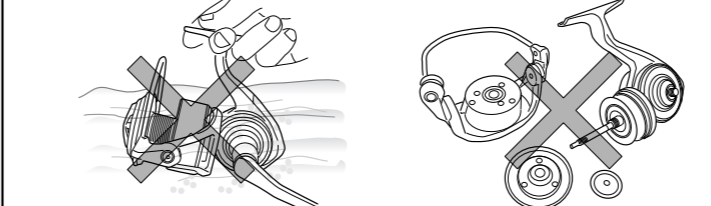
●お手入れ方法

⚠注意 リール性能が損なわれますのでおやめください!

- 水洗いの際は、洗剤を使用しないでください。マグシールド機能を損ないます。また弊社製品「爽快釣行リールウォッシュ」についても同様に使用できません。ご注意ください。
- 図に示すラインローラー、ローター内側への注油は絶対におやめください。マグシールド機能を損ないます。



- 本製品は完全防水ではありません。水に浸けての洗浄はおやめください。
- ボディとローターを分解してのメンテナンスはおやめください。

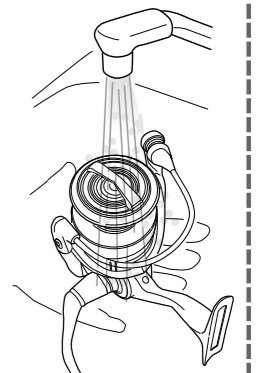


※市販の防錆潤滑剤のご使用は、結果的にギアやボールベアリング等内部パーツの耐久性を損なう可能性や異音等の発生の原因になる場合がございます。図に示すマグシールド周りの注油は絶対におやめください。マグシールド機能を損ないます。

ご使用後のお手入れ

ご使用後は外観部の汚れ、塩分をシャワー等で全体にまんべんなく真水をかけ、落してください。そして、よく水を切り陰干ししてください。尚、水洗いはドラッグを締め、ハンドル、ハンドルキャップをつけた状態でを行い、イラストのようにドラッグノブの方向からのみ、水を掛けるようにしてください。

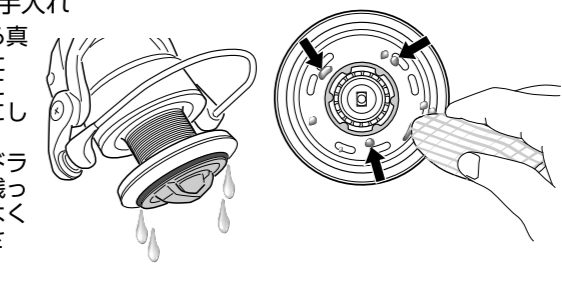
⚠注意
水洗いの際には、ハンドルを回転させないでください。



※本機種は、放熱性を高めるために、ドラッグノブとスプールの間に隙間を設けておりますが、ドラッグ機能には影響を与えない防水構造となっておりますので安心してご使用いただけます。

●スプールのお手入れ

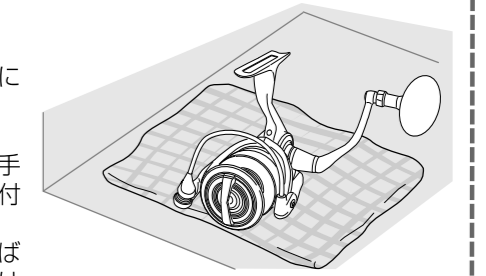
1. ドラッグノブ側から真水を十分に掛けた後、右図のようにリールを逆さまにして水を抜きます。
2. 水が抜けたら、ドラッグノブを外し、残った水分・塩分をよく拭き取ってください。



よく水を切り、タオルなどで拭き上げ、陰干しをして乾かした後は通風性のよい場所に保管ください。

●保管方法について

- ①深い傷・打痕により表面処理を剥離してしまった場合には、耐触性が低下します。取り扱いにはご注意ください。
- ②釣行後は必ずリール本体をロッドから外し、上記のお手入れをしてください。ロッド(リールシート)に取り付けた状態のままの保管は、お避けください。
- ③濡れた状態で保管しないようにご注意ください。例えば濡れたリール袋や竿ケース等に入れたまま保管する等はおやめください。



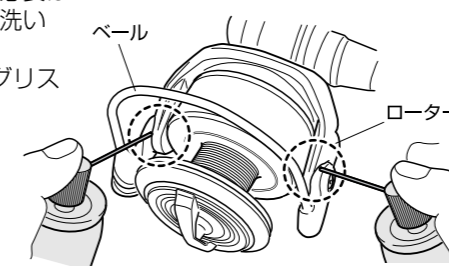
特に海水域でリールを使用した場合、錆や塩分によるトラブルを防止するためにも、以下の要領で釣行後に必ずメンテナンスを行っていただくことが重要です。但し、ボールベアリングやギア等は消耗品であり、長期間のご使用により初期性能は低下する可能性があります。本リールを末永くお使いいただくためにも、年に一度はオーバーホールに出されることをお勧めします(有料)。

- 内部パーツは基本的にはメンテナンスの必要はありませんが、ベール等の作動部には水洗い後、図の要領で注油をお勧めします。
※推奨グリス：ダイワ純正リールガードグリス

【注油箇所】

1) ベール周り

図のように、ベールの付根とローターとの隙間にダイワリールガードグリスを両側共注油してください。



2) ラインローラー部

本機種のラインローラーは防水がなされています。そのため、以下のことは絶対にしないでください。
①ラインローラー部のスクリューを外すなどの分解行為。
②ラインローラー部への注油。(外からの注油も含む)
③強力な磁石：磁力の発生するものは念のため、近づけないようご注意ください。また磁気を持つカード類(キャッシュカード)を近づけるとカードの機能を損なう可能性があるためご注意ください。



※ギア部などリールを分解してのお手入れは、内部構造が複雑なため、性能を損なう可能性があります。おやめください。
※万が一、海水に水没させてしまった場合は、水洗いを行ない、海水を完全に抜いてください。但し、内部に残った塩分により不具合が発生する可能性がありますので、販売店を通じて、速やかに(株)スポーツライフプラネットに修理としてお預けください。